

『本棚の中のニッポン』  
-大学の研究・学習環境を  
“世界と日本”から考える-

江上敏哲

国際日本文化研究センター

電子ブックトレンド講演会  
徳島大学 2012.12.20



国際日本文化研究センター  
(通称：日教研)

- ・「日本文化に関する国際的・学術的・学際的な総合研究」
- ・「世界の日本研究者に対する研究協力・支援」
- ・大学共同利用機関  
人間文化研究機構

「日本研究」  
Japanese  
Studies

「本棚の中のニッポン」とは？

本棚の中のニッポン

海外の日本図書館と日本研究

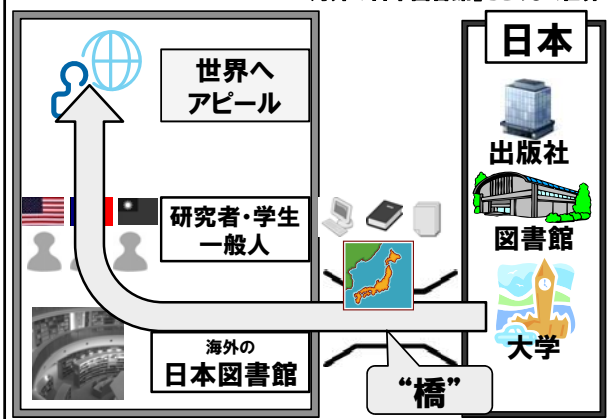
(笠間書院 / 2012.5)

- ・ 海外の日本研究 (研究者・学生)
- ・ 海外の日本図書館とその周辺
  - 蔵書・サービス・活動
  - 現状・課題・ニーズ
- ・ 日本からのサポート・情報発信



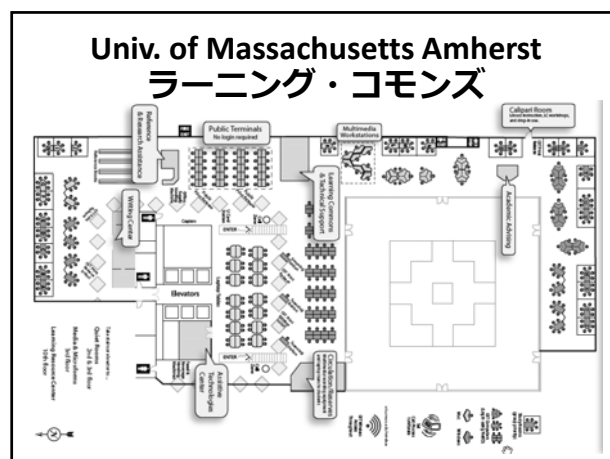
「海外の日本図書館」  
をとりまく世界

「海外の日本図書館」をとりまく世界



大学の研究・学習環境を  
“世界と日本”から考える

# 「場所」 ラーニング・コモンズ



## UMass Amherst ラーニングコモンズ

- 図書館・寮・食堂・フードコート
- 学部学生が多い
- 学内の寮で生活
- 周囲は野原
- 車・バスで移動
- 遠くに1キロほどのメインストリート

## Harvard University Lamont Library

- 学内にフリーなスペースが散在
- 大学院生が多い
- 徒歩・自転車
- 市の中心街
- 周辺にカフェや公共スペースが多数

# 「人」 ライブラリアン 研究・学習サポート

## Harvard University 新学期オリエンテーション



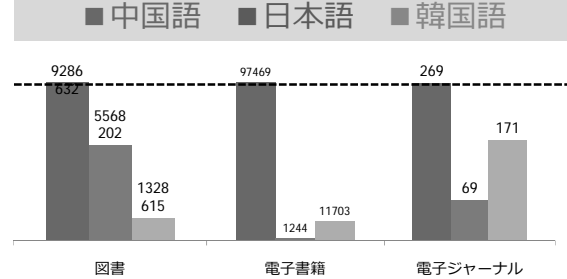
# 「デジタル」 e-resource (電子ジャーナル・電子書籍・データベース)

## e-resource利用環境の整備

- 人文系でも、e-resourceをふんだんに使う。  
全文・オンラインが当然。
- 講義の必読文献は、図書館が電子版を購入。
- もし電子版がなければ、図書館が権利者と交渉・許諾を得て、電子化する。
- 論文検索して、その場でコピーを注文。  
(学内・学外・国外を問わない)  
メール添付またはサーバからダウンロード。
- 提携した他大学なら、直接オーダー。

## 日本語e-resourceが極端に少ない

北米・東アジア図書館での所蔵数(2010)



- 数が少ない
- 不便
- 値段が高い
- 条件が厳しい

### 提言

日本のユーザ“こそ”が  
要望の声を大きく上げる！

## 【まとめ】

大学の研究・学習環境を“世界と日本”から考える  
「場所」・「人」・「デジタル」

- ① 要望：  
ほしい物を「ほしい」と言う・動く
- ② 全体設計：  
問題をとるまく世界全体を考える

次の“何か”